

データベース技術に代表されるデータ工学の分野では，昨今のデータベースの応用領域の拡大や，膨大かつ多様なビッグデータの出現を受け，活発な研究活動が行われています．特に，モバイル機器や各種センサの普及と，クラウドコンピューティングやデータ処理技術の進歩により，ビッグデータを用いた意思決定や新たな価値の創造が可能となってきました．電子情報通信学会データ工学研究専門委員会が共催しておりますデータ工学と情報マネジメントに関するフォーラム（DEIM フォーラム）では，幅広くデータ工学並びに情報マネジメント分野を対象として，先進的な研究成果に対する発表と活発な議論を行っています．これを踏まえ，昨年に引き続き情報・システムソサイエティ和文論文誌にてデータ工学と情報マネジメント特集（平成 30 年 4 月号）を企画致しました．DEIM フォーラムで発表された研究内容を更に発展させた論文，あるいは同フォーラムに限らずデータ工学と情報マネジメントに関連した論文を広く募集致しますので，奮って御投稿下さいますよう御案内申し上げます．

1. 対象分野

以下のようなテーマの論文投稿を期待しておりますが，これに限らず広くデータ工学と情報マネジメントに関する分野の論文の積極的な御投稿をお願い致します．

- ・ファイル編成，ストレージ技術
- ・問合せ処理，問合せ言語
- ・トランザクション処理
- ・データモデル・データモデリング
- ・クラウドコンピューティング，並列・分散データベース
- ・マルチメディアデータベース
- ・時制データベース，空間データベース・モバイルデータベース
- ・クラウドソーシング
- ・データウェアハウス，OLAP・データマイニング
- ・科学データベース
- ・コンテンツ処理，Web 情報システム
- ・情報検索，情報抽出，情報要約，デジタル図書館
- ・XML，半構造データ
- ・メタデータ，セマンティック Web
- ・情報配信，データ放送
- ・電子商取引，e ラーニング
- ・プライバシー保護のためのデータ管理技術
- ・センサデータベース
- ・ストリーム処理
- ・P2P システム
- ・グラフ管理，ソーシャルネットワーク
- ・情報統合技術，確率的データベース
- ・データ可視化とユーザインタフェース
- ・情報推薦，パーソナライゼーション
- ・地理情報システム

2. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の一般論文と同一とし，論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします．
- ・詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html を御参照下さい．
- ・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい．
- ・投稿締切日 平成 29 年 6 月 21 日（水）23：59 厳守（6 月 22 日 0 時 0 分に受付がクローズします）

【問合せ先】

太田 学 岡山大学大学院自然科学研究科

E-mail：ohta@cs.okayama-u.ac.jp

3. 論文投稿方法

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし，投稿原稿の PDF ファイル・編集用電子ファイルを登録し，Web 上で著作権譲渡手続きを進めて下さい．投稿手続きについて御不明な点がございましたら，学会事務局まで御連絡下さい．

【学会事務局連絡先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

E-mail：wabun-dl@ieice.org

4. 特集編集委員会

委員長 豊田正史（東大）

幹事 太田 学（岡山大），合田和生（東大），上田高德（IBM）

委員 牛尼剛聡（九大），大島裕明（京大），奥 健太（龍谷大），小山 聡（北大），北山大輔（工学院大），熊本忠彦（千葉工大），清水敏之（京大），鷹野孝典（神奈川工大），戸田浩之（NTT），野宮浩揮（京都工機大），平手勇宇（楽天），藤原靖宏（NTT），山口実靖（工学院大），吉田尚史（駒澤大），義久智樹（阪大）